

平成27年度北陸情報通信協議会定期総会を開催

「モバイル産業の現状と未来～北陸の発展に向けて～」と題し、
株式会社NTTドコモ 寺崎代表取締役副社長が特別講演



北陸情報通信協議会(会長 永原 功 北陸経済連合会会長)では、平成27年4月21日(火)、金沢東急ホテルにおいて、平成27年度定期総会を開催し、役員、会員等約140名が出席しました。

冒頭、永原会長が、「当協議会は前身の北陸テレコム懇談会と北陸電波協力会が統合し、北陸情報通信協議会として発足して5年目、また、昭和30年に北陸電波協力会が発足してから60周年、昭和60年に北陸テレコム懇談会が発足してから30周年の節目の年を迎える。3月14日に北陸新幹線の金沢開業が実現し、北陸の豊かな観光資源や文化、食材の宝庫など地の利を活かし、本年秋から関係機関が協働で開催する大型観光キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」が展開される。当協議会では、北陸地域の社会的課題をICTの利活用によって解決するため、昨年度から「安心・安全部会」、「G空間×ICT街づくり推進部会」、「イノベーション部会」の3つの部会を設置して調査研究に取り組んでいる。今年度から4K・8Kを活用した地域の活性化を図るため、「4K・クールジャパン北陸推進部会(仮称)」の設置を提案している。当協議会として、北陸における情報通信の普及・発展と、豊かな地域社会の実現に向け引き続き貢献していきたい。」と挨拶しました。

次に、星 克明顧問(総務省北陸総合通信局長)が、「4月14日に公表した「総務省北陸総合通信局ミッション2015ーかがやきのある北陸 by ICTー」では、①まち・ひと・しごと創生、②防災基盤の強化、③技術開発・利用の促進、④安心・安全なネット利用、⑤電波利用環境の改善の5つの目標を掲げて取り組んでいく。これらの取組を推進するため、北陸情報通信協議会との連携・協働をこれまで以上に密にして取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

議案の審議では、平成26年度の事業報告、決算報告、会計監査報告及び平成27年度の事業計画(案)、予算(案)、役員(案)、さらに国、地方公共団体について特別会員(会費免除)としての加入を認める会則改正(案)がそれぞれ承認され、永原 功北陸経済連合会会長が満場一致で会長に再任されました。

議事終了後、「安心・安全部会」、「G空間×ICT街づくり推進部会」、「イノベーション部会」の各部長等から、平成26年度の調査研究活動について報告が行われました。

続いて、特別講演では、株式会社NTTドコモ代表取締役副社長の寺崎 明氏から、「モバイル産業の現状と未来～北陸の発展に向けて～」と題して、これまでの産学官の立場での経験を踏まえ、モバイル通信市場の変遷、ドコモのモバイル領域及び新領域への取り組みについてご講演をいただき、北陸3県のLTE-Advanced展開や北陸新幹線開業に向けたエリアの取り組み、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目指した大容量、超高速、超遅延通信を実現する次世代移動通信システム(5G)、さらに農業・環境・教育・健康・医療分野での新たな付加価値提供を目指す取り組みなど、大変興味深いお話をいただきました。



【永原 功 会長 挨拶】



【星 克明 顧問 挨拶】



【特別講演：寺崎 明 副社長】

【各部会から平成26年度部会活動（調査研究活動）を報告】



●安心・安全部会
 (報告者) 宮島 昌克 部会長
 金沢大学理工研究域
 環境デザイン学系 教授



●G空間×ICT街づくり推進部会
 (報告者) 飯島 泰裕 部会長
 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構
 客員教授
 (インターネット動画中継による報告)



●イノベーション部会
 (報告者) 金平 勲 副部会長
 (一社) 石川県情報システム工業会
 アドバイザー

【定期総会・部会活動報告】



【特別講演】



【会員交流会】

